

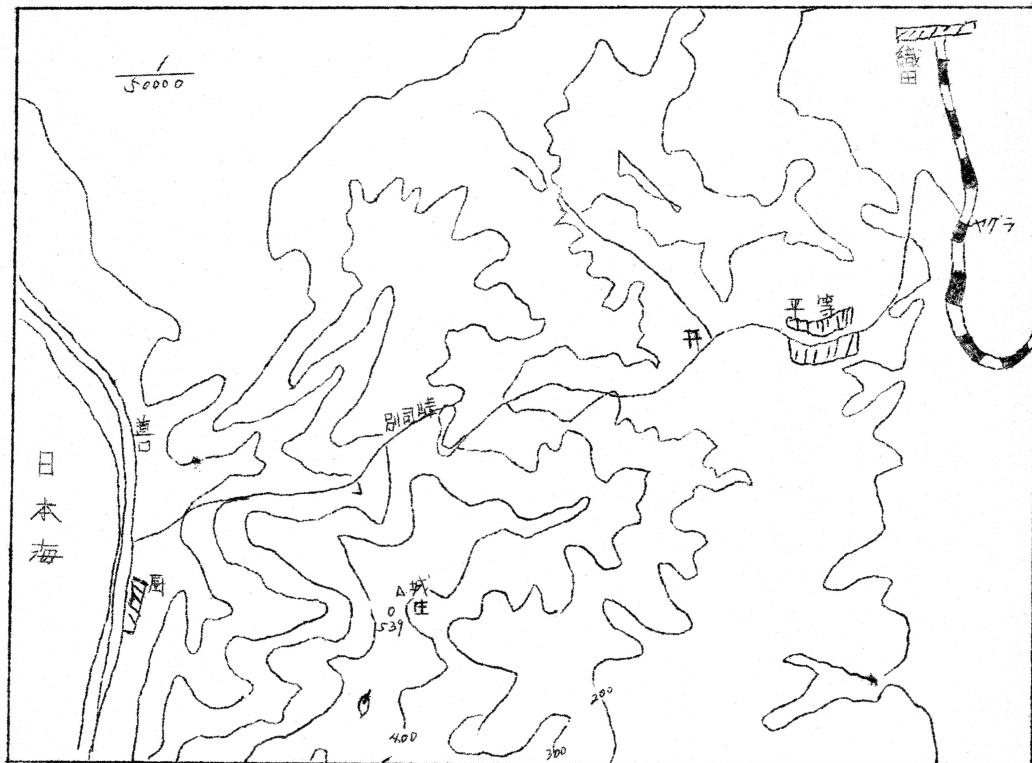
- 3 *Sceptridium multifidum* NISIDA var. *robustum* NISIDA
エゾフユノハナワラビ
本県初記録
- 4 *Agrimonia pilosa* LEDEB. var. *nipponica* KITAM.
ヒメキンミズヒキ
本県初記録で、大仏寺と三里山で採集
- 5 *Angelica pubescens*. MAXIM. form. *glabra* MURATA
ケナシミヤマシンウド
シシウドの葉の裏に毛のない型
本県初記録
- 6 *Diplazium bittyuense* TAGAWA ピツチユウヒカゲワラビ
本種は昭和8年に田代善太郎氏が永平寺で採集された後、約30年間そのゆくえが判明しなかつたのであるが、今回見事に再発見された。
- 7 *Dioscorea nipponica* MAKINO ウチワドコロ
本州(北、中部)北海道に分布するものである。
本県初記録

渉 迂 定 路 記

平 等 一 厨 峠 採 集 記

昭和36年10月15日 福井発7時27分発織田行電車にて、竹内、林、高橋氏らと一緒に乗りこみ、水落で堀館長、寒峰先生と合流して、橋停留所で下車して秋晴れの中を厨峠めざして前進した。停留所から平等部落にかけて、イヌコウジユ、ヒメジソ、キツノゴマ、アシボソ、チヂミザサ、コブナグサ、チガヤ、スズメノヒエ、チカラシバ、カゼクサ、ススキ、エノコログサ、アメリカセンダンソウ、カヤツリグサ、コゴメガヤツリ、コメナモシ、ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギク、ヨモギ、メドハギ、ヤハズソウ、イノコズチ、ヌスピトハギ、キンミズヒキ、シケシダ、イヌタデ、サクラタデ、アキノウナギツカミ、ミゾソバ、トゲソバ、ナワシロイチゴ、織田中学の前方の小さい溜池では、ノタヌキモ、オヒルムシロを採集した。

平等の神社から峠までの間では、シケシダ、イヌワラビ、ヤマイヌワラビ、ヒメワラビ、イノデを採集しながら道の横の小さい谷間にいいると、オオニガナが一株と、カラクサイイヌワラビ、カラタニイヌワラビ(タニイヌワラビ×カラクサイイヌワラビ、若須岳と合わせて産地は2ヶ所になつた)が目に入つた。この珍品にありつき喜び勇んで、更に前進すると、イタチシダ、ホラシ



0 4000

ノブ、ハクサンアザミ、キバナアキギリ、コマユミ、コナラ、クリ、フユイチゴ、トリアシショウマ、ハグロソウ、アキチヨウジ、ヤノネグサ、ウラボシノコギリシダ、コウヤボウキ、ホツツジ、コアジサイ、ホシダウシクグ、ヤマイ、サヤヌカグサ、サトメシダ等があつた。道の横の小さな湿地にはいり、ヒメシロネ、コマツカサススキ、アイバソウ、ヒカゲヒメジソ、アオコウガイゼキショウ、サワオトギリ、ハンノキ、コマユミ等を採集しふと谷間の田の方に目に向けると、モウセンゴケ、オオホシクサなど目に入つた。

更に、峠へ向つて前進すると、ヤマハギネジキ、ヤブムラサキ、ウラジロサルサシ、ケホソバシモツケ、シモツケ（オオシモツケ）ムラサキシキブ、ヒメヤシヤブシ、ウシクグ、トダシバ、オオバヤシヤブシ、アクンバ、スノキ、マルバマンサク、サイゴクミツバツツジ、ソヨゴがあつた。この頃になると、腹がすいたので、峠に達しないけれども昼食をとつた。

峠から厨までの道中では、ネズミガヤ、ネズミノオ、アキチヨウジ、キバナアキギリがあり、峠から下だり出すと、フシグロ、タンドボロギク、クズ、オオツヅラフジ、アオツヅラフジ、ヒキオコシ、コミヤマミズ、ミズ、アオミズ、ヤマハギ、ゲンノショウコ、ヤマヤブソテツを採集し平担な道に出ると、キバナアキギリ、ヤマヨモギ、コシオガマギク、ヤマガシユウを、厨に近

(採)

づくと、タブノキ、ヤブニッケイ、ムクノキ、マルバシヤリンバイ、コセンダングサ、センダングサ、コメヒシバ、アキノエノコログサ、ヒナタイノコズチ、イノコズチ、海岸に出ると、ハマゼリ、カワラアカザ、コシロザ、ケアリタソウ、イソノギクがあつたので採集し、有意義な一日を終えた。

注目すべき植物は1、キバナアキギリ 越智山から若須岳に至る丹生山地に分布することが明らかになつた。

2 *Orthodon grosseserratum* Kudo var. *nanum* Hara
ヒカゲヒメジソ これは本県初記録である。

3 *Athyrium × purpureiper* Kurata カラタニイヌワラビ

これは第八号に報告したように、肥後、大和、土佐、と越前だけである。

渡辺定路記